

## 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	法学部	身分	教授
氏名	中澤 秀雄		
NAME	NAKAZAWA HIDEO		

## 1. 研究課題

（和文）東北から考察する地域内経済循環とリワイアリング

（英文）Local Economical Circulation and Rewiring Reflected through Practices in Tohoku Region

## 2. 研究期間

1年間（2021年度）

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

申請者は過去3度(2018,2015,2011の各年度)、本研究費を受けており、その成果報告は<https://www.chuo-u.ac.jp/research/support/funding/fun02>に掲載されている。これら過年度報告書においては研究申請書で定義された到達目標を達成すべく必要な物品購入・出張等を行いながら理論的・実践的な研究成果を産出し、学術誌・学内誌等に報告してきた。しかしながら、今回は2つの特殊な事情により、上記したような過去の報告書と異なる様式にならざるを得ない。第一の事情はコロナ禍により、対面調査や出張に極端な制約がかかったことである。そのため本課題がスタートしてからの1年間は基礎的な文献収集と調査のための機材準備を中心に行うことになった。第二の事情は、申請者が2021年度限りで中央大学を退職することになり、2022年度までの2年間として設定・承認されていた研究期間を急遽、2021年度の一年度のみに変更したことである。

このような特殊事情により、2021年度の一年間では本課題が設定した問い「東北の文化的資源を活かし、貨幣漏出を防ぐ地域経済モデルとはどのようなものか、それはどのような道筋で実現可能か」を追究するための基礎作業・種まきとしての文献収集や調査準備が中心的作業となった。研究申請書で定義された到達目標を達成することは次年度以降、別の形で行い、何らかの形で成果報告に繋がられるようにしたい。

（英文）

I received this grant third times in 2011, 2015 and 2018, of which the outcome reports can be retrieved from the Chuo-u website. In these past reports I defined the research aims, broke up the working tasks, described the achievements and budget expenses, then theorized the resulting academic outputs clearly and eloquently as browsing readers shall confirm. However, due to the following two irregular situations, I regretfully state here that this time the research tasks were just gone halfway through. One reason is COVID-19 pandemic that prevented me to perform enough filed researches. The other reason is my sudden dismissal which forced me to curtail the research term from two years to one.